



移動スーパー「結びや」高岩里美さん(奥左から2人目)らスタッフの皆さん。大垣市青墓町、紡ぎ

大垣のデイ運営「結ぶ」が移動販売

足が不自由だったりして買い物に行けない人でも、自分で見て選んでから購入する喜びを味わってほしいと企画した。トールワゴン型の軽自動車に地元の人気店の弁当など約400点を載せて訪問する。

生活雑貨に加え、米一の弁当や惣菜、ヒシヤリボリのパン、大松の菓子といった大垣市内の店の商品のほか、垂井町のフラワーショップよしだの生花など地元の商品をそろえた。弁当や惣菜は薄味にしてあったり、きんぴらごぼうを極細で作ったりと高齢者でも食べやすくしてある。大垣西濃信用金庫が協力し、同金

西濃地域の1人暮らしの高齢者宅などを車で回る移動スーパー「結びや」が1日、営業を始める。デイサービスセンターを運営する会社「結ぶ」(大垣市青墓町)が、買い物弱者対策として取り組む。通常の移動スーパーと異なり、1軒ずつ訪問してきめ細やかな対応をする。

(鈴木隆宏)

買い物する喜び運ぶ

きょう開始 高齢者宅を1軒ずつ訪問

庫内で活用しているマッチングサイトを使って仕入れ先を選定した。

ケアマネジャーなどからの紹介を受けて訪問先を決定。1日最大30軒を回る。対象エリアは大垣市や垂井町、池田町で、要望があればエリア外でも訪問を検討する。営業は月々土曜日で、水曜日は同社が運営する同市青墓町のデイサービス「紡ぎ」で営業する。

代表社員の高岩里美さん(46)は「買い物をする」ことで、人と接することが少ない人でも会話をすることになる。できるだけ要望に応じていきたい」と話している。